

## 第2回設楽ダム環境検討委員会 議事概要

○日時：平成21年3月20日（金）14:00～17:00

○場所：桜華会館4階「松の間」

○出席委員：松尾 直規 委員（委員長）、有田 豊 委員、小笠原 昭夫 委員、田中 正明 委員、前田 喜四雄 委員、森 誠一 委員

### ○議事概要

#### (1)各委員からの指摘とその対応について

委員：規約（案）の第4条についてこの表現では、各検討会が本委員会の下部組織のように読めるが。本委員会と検討会が意見交換をするということを各検討会に周知しておく必要がある。

事務局：下部組織との認識ではないので規約（案）の第4条4項については、表現をあらためる。また、各検討会にも周知する。

委員：湿地管理組織とはどのような組織か。

事務局：湿地管理組織は資料4-1のP12で説明しているとおり、地域住民、教育機関、社会的機関、NPO等が参加する組織を想定している。

委員：湿地管理検討委員会の委員はどのようなメンバーか。

事務局：湿地管理検討委員会は、地元の方や町の教育委員会、NPOの方がメンバーである。

委員：そのメンバーが湿地管理組織に引き継がれていくようなイメージと考えれば良いか。

事務局：そうならばと考えている。

委員：湿地環境の整備への地域住民等の参加は、この事業の大きな柱の一つだと思うので、上手く行くように支援をしてもらいたいですが、コストについてはどのような議論がされているのか。

事務局：コストについては、具体的な議論はされておらず、これからの課題と考えている。

委員：レッドリスト改訂に伴う重要な種の再整理の中で、昆虫類と底生動物のリストで、一部の種が重複している。底生動物リストに入っているゲンゴロウ類等は昆虫リストに含めるべきである。

事務局：このリストは、昆虫類調査、底生動物調査のそれぞれの調査において確認されたものを整理している。一部の種で重複しているのはそのためである。

## (2)環境保全措置、事後調査、配慮事項の計画について

- 委員 :P8の他ダムの事例について、どのような視点でヒアリングを行うかが重要であり、組織の体制や役割分担が重要ではないか。長島ダムでは、地元の方が積極的に参加しているのか。
- 事務局：先生の視点も踏まえてヒアリングを行っていく。長島ダムの流域連携協議会は、流域の市町が中心である。
- 委員 : 湿地環境の調査では、生物の調査も必要であるが、滲出水等の水源がどうなっているかが重要であり、水文調査というほどではないが、水源を把握するような調査が必要ではないか。
- 事務局：整備を予定している各地区では水田が営まれており、水源は豊富である。水文を把握するような調査も必要に応じて行っていく。
- 委員 : ネコギギに関して、生息状況等の監視とあるが、監視の内容について具体的にする必要はある。
- 事務局：具体的な内容について今後整理する。
- 委員 : 資料 4-1 の P18 に掲載されている種数と資料-7 の重要な種のリストとの種数が異なっているのはなぜか。
- 事務局：この重要な種のリストは、文献調査及び事業者の調査により確認されている重要な種をすべて掲載している。資料 4-1 の P18 の種数は、このうち、事業による影響予測を行う調査地域内で確認されたものに絞りこんでいる。このため、種数に違いが生じている。対象とする重要な種のリストを整理する。
- 委員 : 資料 4-1 の P18 において、「重要な種の生息状況の変化を把握するため、重要な種を含めた動物相調査を実施する」とあるが、表現がわかりにくい。生息状況の監視とは具体的に何をするのか。
- 事務局：重要な種の生息状況の監視にかかる調査計画については、文章の表現や具体的な内容について再度検討したい。

### (3) 猛禽類検討会の報告について

委員 : 表-4 の猛禽類の重要な種の出現状況は確認回数か。また、ダブルカウントはないのか。

事務局 : 確認回数である。また、ダブルカウントはまったくないとは言えないが、調査では複数の調査者により無線を使う等してダブルカウントを防ぐように実施している。

委員 : 表-6 の餌内容の種類合計数は確認された回数か。また、哺乳類とあるのは、上記にあるニホンリス、ネズミ科 sp 以外のものということか。

事務局 : 確認回数である。また、CCD カメラに映っていて哺乳類とわかるが、種類までは分からなかったものを哺乳類としている。

委員 : 図-1 の割合と表-6 の合計数が一致していないのではないか。

事務局 : 確認して修正する。

### (4) 魚類検討会からの報告について

委員 : ネコギギのハビタット解析は、かなり詳細に行われているようであるが、これは学会等で発表できるぐらいの内容なのか。

事務局 : シンポジウム等での発表は行っており、これからもできるかぎり公表していきたい。

委員 : P2 の図-3 にある河床勾配が 2%前後という表現は、2%以下ではないのか。

事務局 : 表現を改める。